

令和5年度 第2回浜田市環境審議会 会議録

審議事項 「浜田市地球温暖化対策実行計画」(区域施策編)(案)について

日時：令和5年11月21日(火)15時～16時13分

場所：浜田市立中央図書館 2階 多目的ホール(浜田市黒川町3748番地1)

出席者：

〈委員〉島根県立大学 教授 濱田 泰弘

浜田薬剤師会 顧問 川神 裕司

島根県水産技術センター 所長 安木 茂

島根県産業技術センター 浜田技術センター長 中島 剛

浜田市校長会 三階小学校校長 小林 信

島根県浜田保健所 環境衛生部長 佐川 竜也

島根県浜田県土整備事務所 所長 石原 淳

石央森林組合 代表理事専務 渡辺 寿

浜田女性ネットワーク 副会長 賀戸 ひとみ

浜田地域代表 原田 豊

金城地域代表 原田 真司

旭地域代表 徳川 博

弥栄地域代表 小笠原 詞子

計 13名

〈幹事〉総務部長 坂田 歩

地域政策部長 田中 健司

健康福祉部長 猪木迫 幸子

市民生活部長 井上 隆嗣

産業経済部長 佐々木 規雄

都市建設部長 戸津川 美二

上下水道部長 佐々木 俊幸

金城支所長 邊 勝朗

旭支所長 西川 修二

弥栄支所長 馬場 正典

三隅支所長 久佐 敦史

計 11名

〈傍聴〉1名

1 開 会

・委員総数19名：出席委員13名 → 会議の成立を報告

2 市長あいさつ(市長代理：井上市民生活部長)

3 会長あいさつ

4 浜田市地球温暖化対策実行計画案に係る諮問

5 審議事項

(1) 浜田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）案に対する意見について

①概要説明[事務局]

②質疑応答

Q:計画が非常に大きく、地域住民からのボトムアップによる再エネ化の視点にかけているのではないか。

A:市民に寄り添った施策として、啓発や補助金事業推進をしていく。

全家庭に再エネ導入するには大規模な地域の電力確保が必要である。

Q:具体的な数値目標を掲載すると、柔軟性に欠けてしまうのではないか。

A:ゼロカーボンに至る過程での数値目標がなければゼロカーボンの根拠がなくなるので定める必要がある。数値目標を設定したために大手企業が参入しやすくなる懸念を抱かれたようだが、エネルギーを地産地消してゼロカーボンを目指していく。

Q:条例により大手企業の参入を規制する考えはあるか。

A:住民意見も参考にしながら、必要があればガイドラインや条例を検討したい。

Q:風力発電を平地におろす動きがある。また、電力買取価格が下がってきている中でも再生可能エネルギーを推進されるのはなぜか。

A:風力発電を平地におろす動きの情報は得ていない。

電力買取価格が下がっていけば事業採算がなく事業者はやらなくなる。そうになると、自分で作った電気を自分で使うという本来の姿になるのでは。そういう姿になっていけばいい。また、地元事業者が電力を買い取る動きになれば電力の地産地消になる。

Q:浜田市に豊富な水力を買う考えはないか。

A:おそらく、島根県企業局が持っている、風力・太陽光発電を地元で使えるエネルギーにしていきたいとは考えている。できれば、小水力発電も導入したい。

Q:電気自動車急速充電器設置個所数が増減している理由は何か。

A:過去の実績値には、普通充電器も含んでいる可能性がある。また、更新時期を迎えて撤去したところもあると思う。

(2) 答申（案）の審議

①概要説明[事務局]

②質疑応答

なし

事務局が作成した答申素案を配布し、了承を得る。
本内容により、今後市長に答申する。

6 その他

(意見なし)

※閉会 16:13